

幌別東小学校 第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会

会 議 次 第

日時 令和3年10月29日(金) 18時00分
場所 鉄南ふれあいセンターホール(3F)

1. 開会

2. 協議事項

(1) アンケート等の実施について

①校区内未就学児童保護者アンケート

②幌別東小学校及び未就学児童保護者向け意見交換会

(2) 幌別東小学校 校区調整の可能性について

3. その他

4. 閉会

幌別東小学校保護者及び校区内未就学児童保護者向け意見交換会 開催要領(案)

1. 目的

幌別東小学校保護者や校区内未就学児童保護者にグランドデザインの内容を広くお知らせするとともに、両保護者の意見を広く聞き取り、幌別東小学校の今後のあり方や学校統合の是非を議論するための資料とする。

2. 主催者

幌別東小学校学校適正配置に関する地区別検討委員会
教育委員会

3. 対象者

参加対象者は、①幌別東小学校児童保護者②校区内未就学児童保護者とする。

このうち、幌別東小学校児童保護者に対しては学校を通じ広く周知、校区内未就学児童保護者に対してはアンケート実施時の名簿を活用し、郵送で案内を送付する。

4. 概要

①開催日時及び場所

保護者が参加しやすいよう平日夜間の開催を想定。場所については、幌別東小学校体育館または鉄南ふれあいセンターを想定。

②運営側参加者

(主催者側) 地区別検討委員会委員と教育委員会職員
(学校関係者) 幌別東小学校校長及び教頭

③内容

はじめに教育委員会よりグランドデザイン等の資料説明を行い、その後に意見交換を行う。

・資料説明

教育委員会より、グランドデザインの内容のほか、幌別東小学校の現状や今後の見通しに関し説明を行う。

・意見交換

総合司会(教育委員会職員)の進行の下、地区別検討委員会委員による複数のインタビュアーからの質問に保護者が答える形で意見交換を実施。なお、質問内容については、個々のインタビュアーで検討。

校区内未就学児童保護者アンケート実施要領（案）

1. 目的

校区内未就学児童保護者を対象に、幌別東小学校の現状や今後の見通しに関し広く意見を聞き取り、幌別東小学校の今後のあり方や学校統合の是非を議論するための資料とする。

2. 実施者

幌別東小学校学校適正配置に関する地区別検討委員会
教育委員会

3. 対象者

アンケート対象者は、幌別東小学校区内の未就学児童（今後幌別東小学校に入学することになる児童）の保護者とする。

なお、対象者については、住民基本台帳より抽出し、対象者全員に調査票を送付する。

4. 概要

(1) 実施時期

地区別検討委員会で実施を決定した後速やかに実施。

(2) 内容

調査票の中で、幌別東小学校の現状、小規模化による良さと課題の例を簡潔に説明した上で、小規模化が進んでいることをどう感じるかなどに関し質問することを想定。

また、同じく調査票の中で、将来の複式学級発生の可能性を簡潔に説明し、これに関する不安の有無を質問。さらに、教育委員会として、幌別小学校との統合を検討している現状を説明し、これに対する賛成、反対とその理由を質問することを想定。

(3) その他

地区別検討委員会への参加案内を同封し、参加者の募集を行うことを想定（返信はアンケート用返信封筒を使用）。

幌別東小学校 校区調整の可能性について

令和3年10月29日
登別市教育委員会

東小と幌小：校区調整のシミュレーション

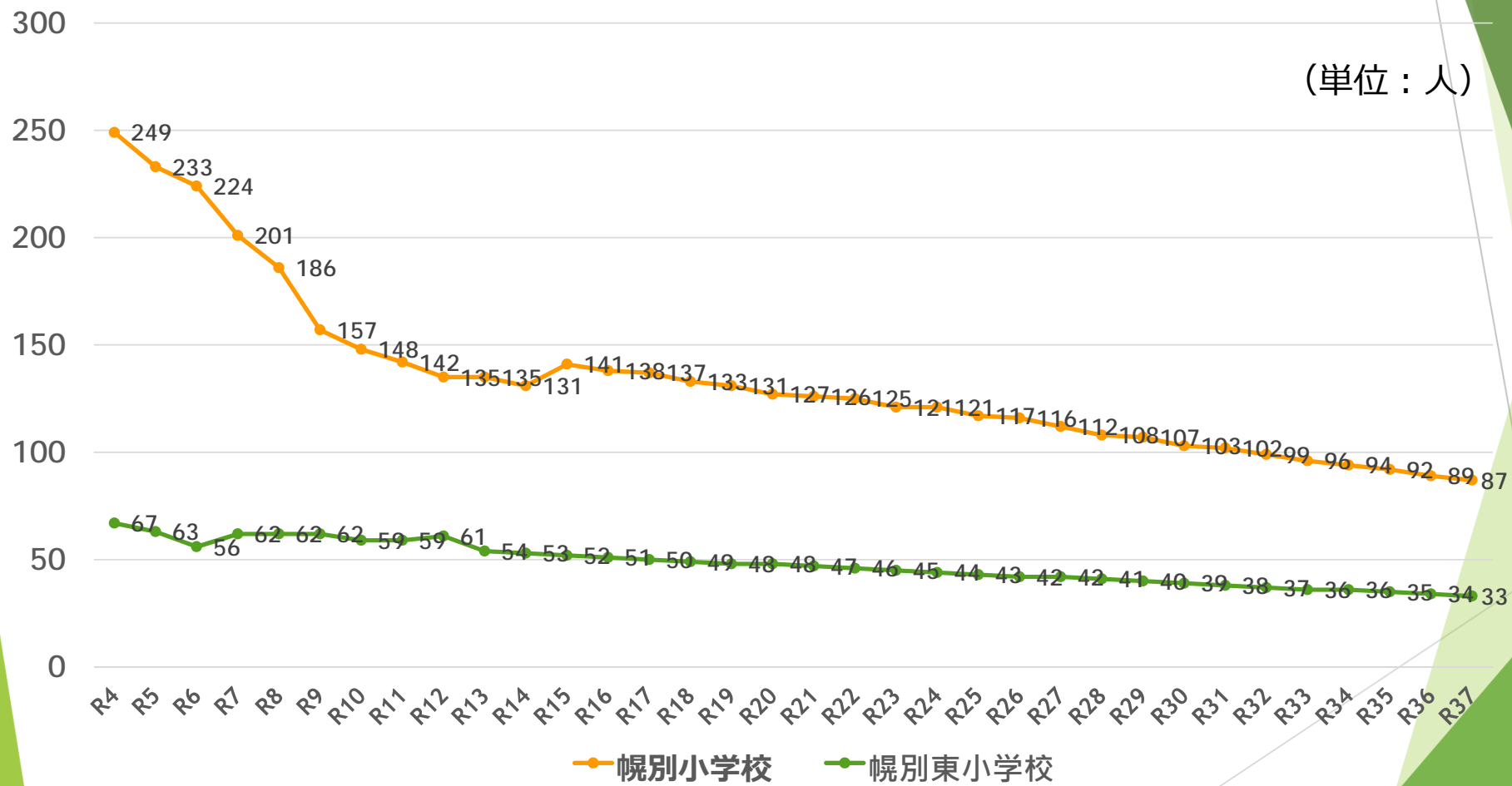
【幌別小学校】 中央町、常盤町、千歳町、来馬町、札内町
【幌別東小学校】 幌別町、幸町、新栄町

校区調整シミュレーション

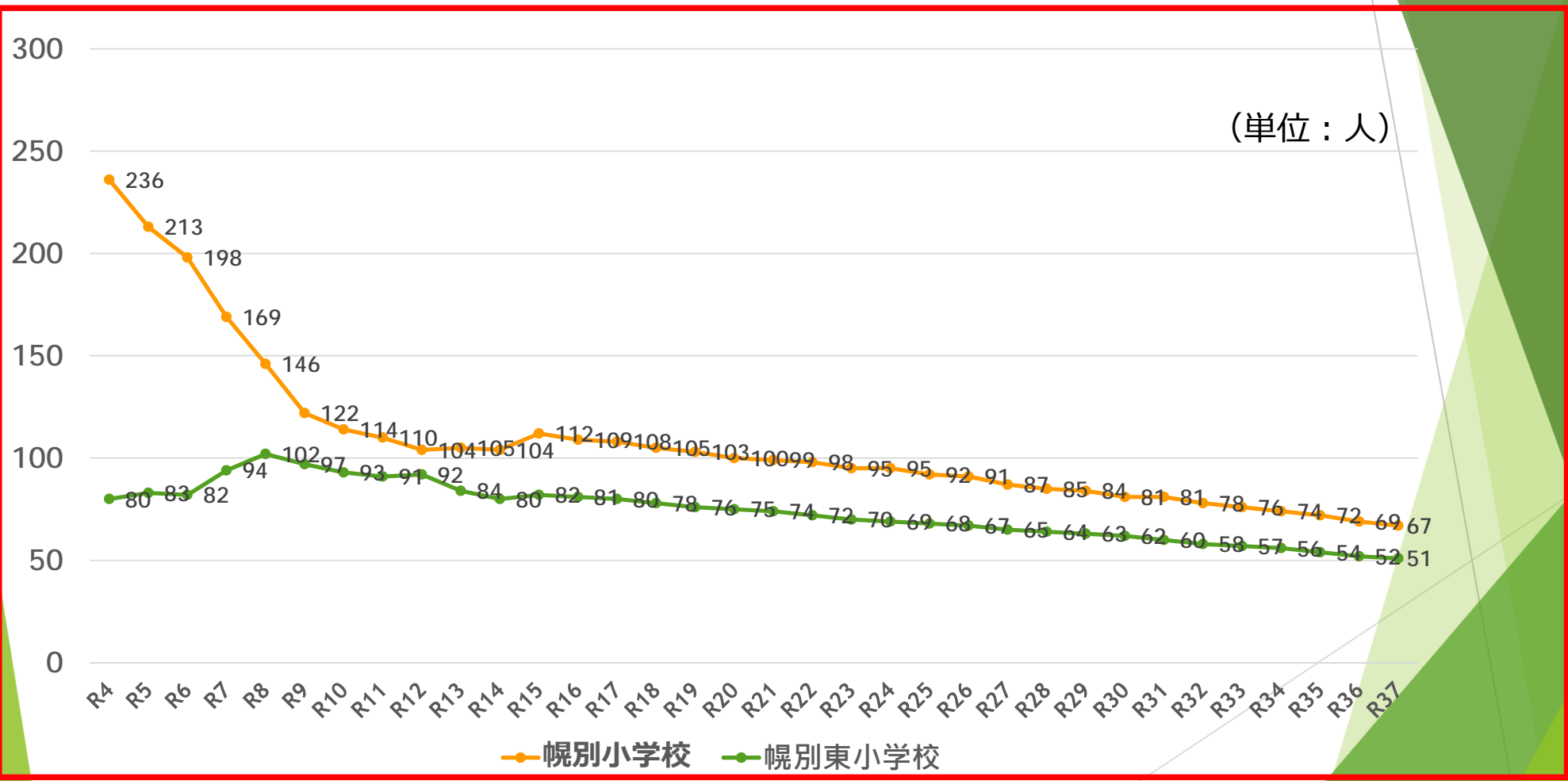
【幌別小学校】 中央町、常盤町、千歳町、来馬町、札内町
【幌別東小学校】 幌別町、幸町、新栄町、千歳町

- 千歳町を東小校区に編入し、R4～R37の児童数を推計
- 編入による両校への影響（小規模化の動向）を検証

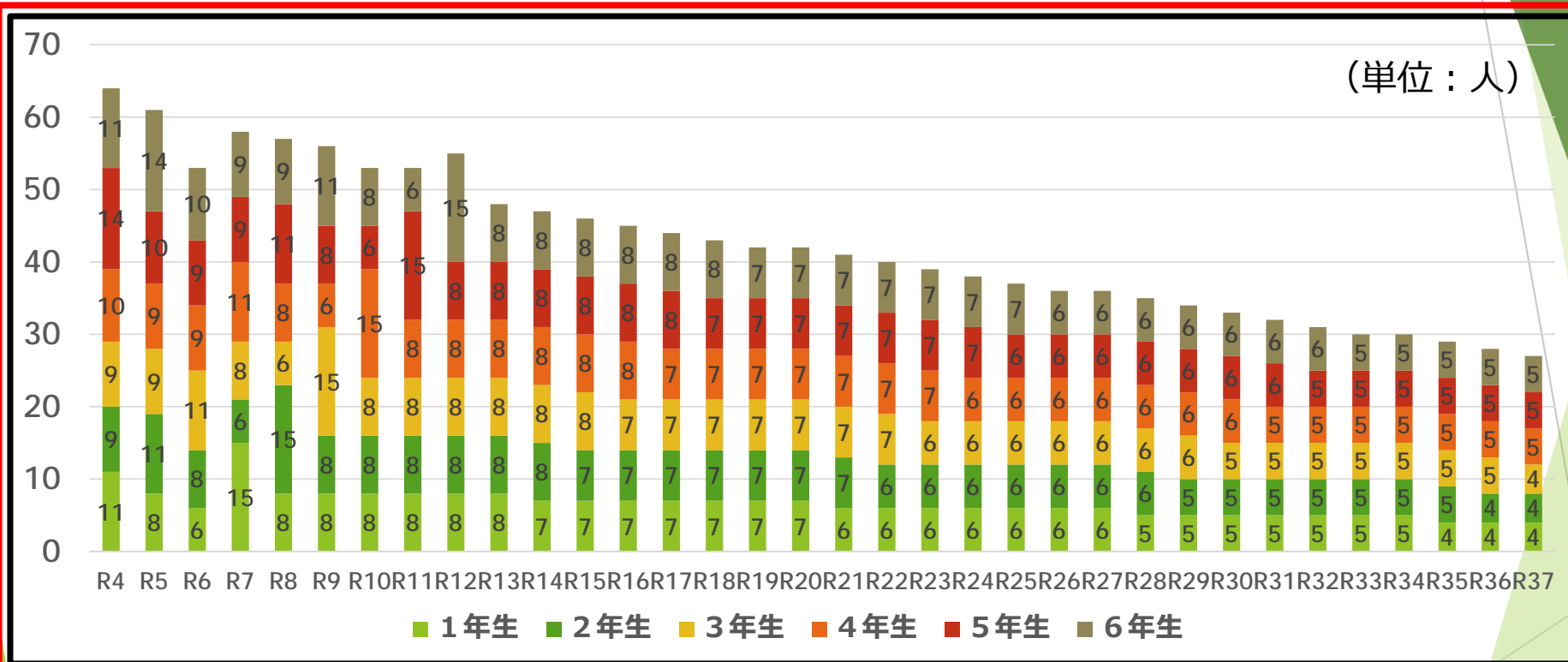
東小と幌小の児童数推計（R4～37）【現校区】



東小と幌小の児童数推計（R4～37）【校区調整】



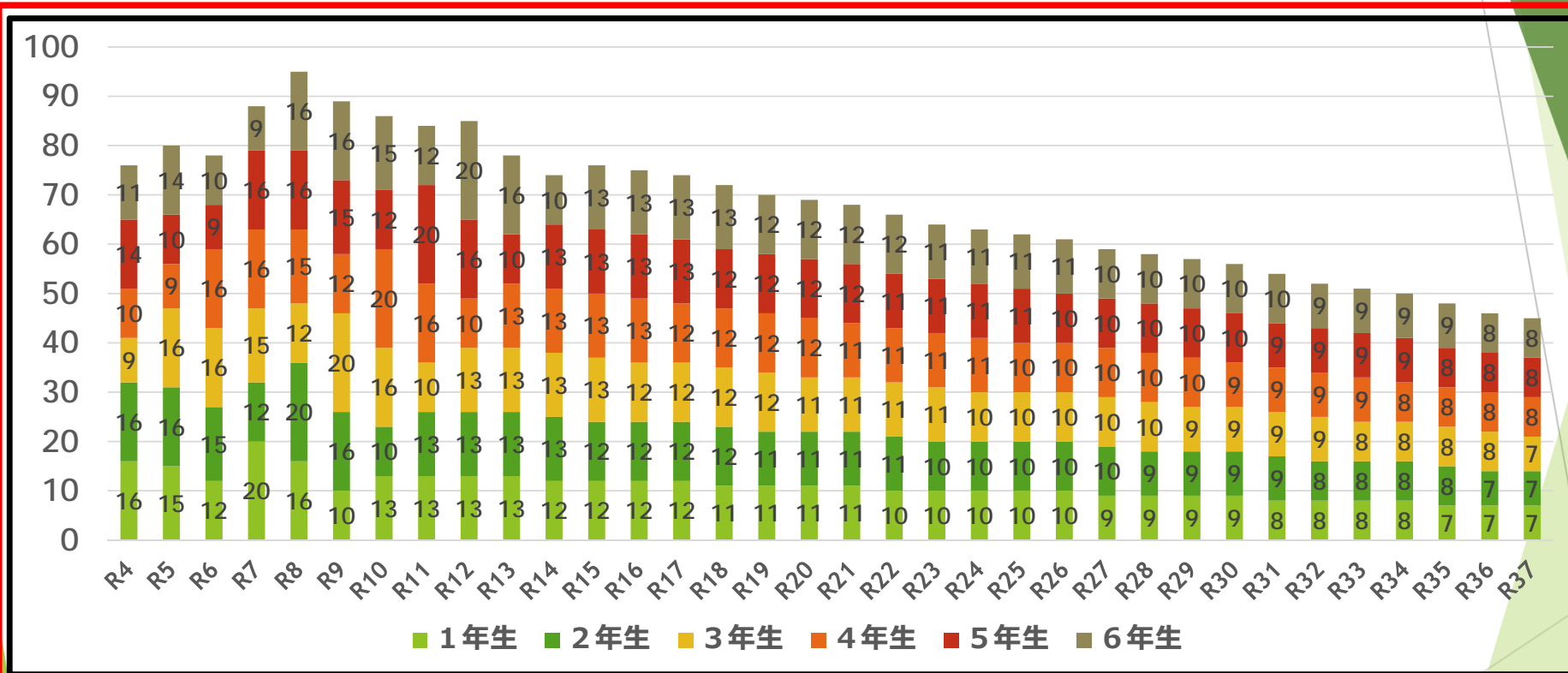
東小の学年別児童数推計（R4～37）【現校区】



➡ 期間中 1 学年 20 人未満の状態が続く

➡ R7以降複式学級が継続して発生

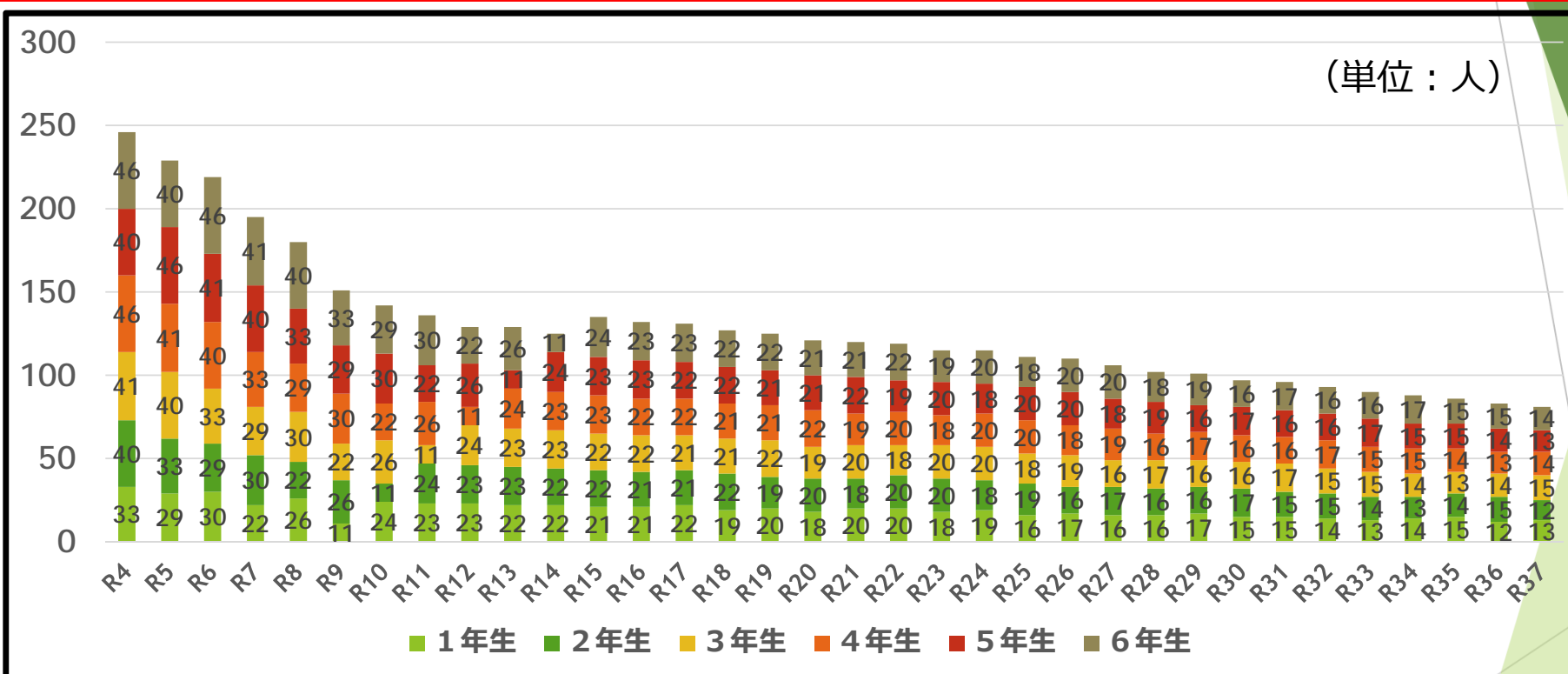
東小の学年別児童数推計（R4～37）【校区調整】（単位：人）



➡複式学級の発生は回避

➡しかし1学年20人未満の状況は変わらず

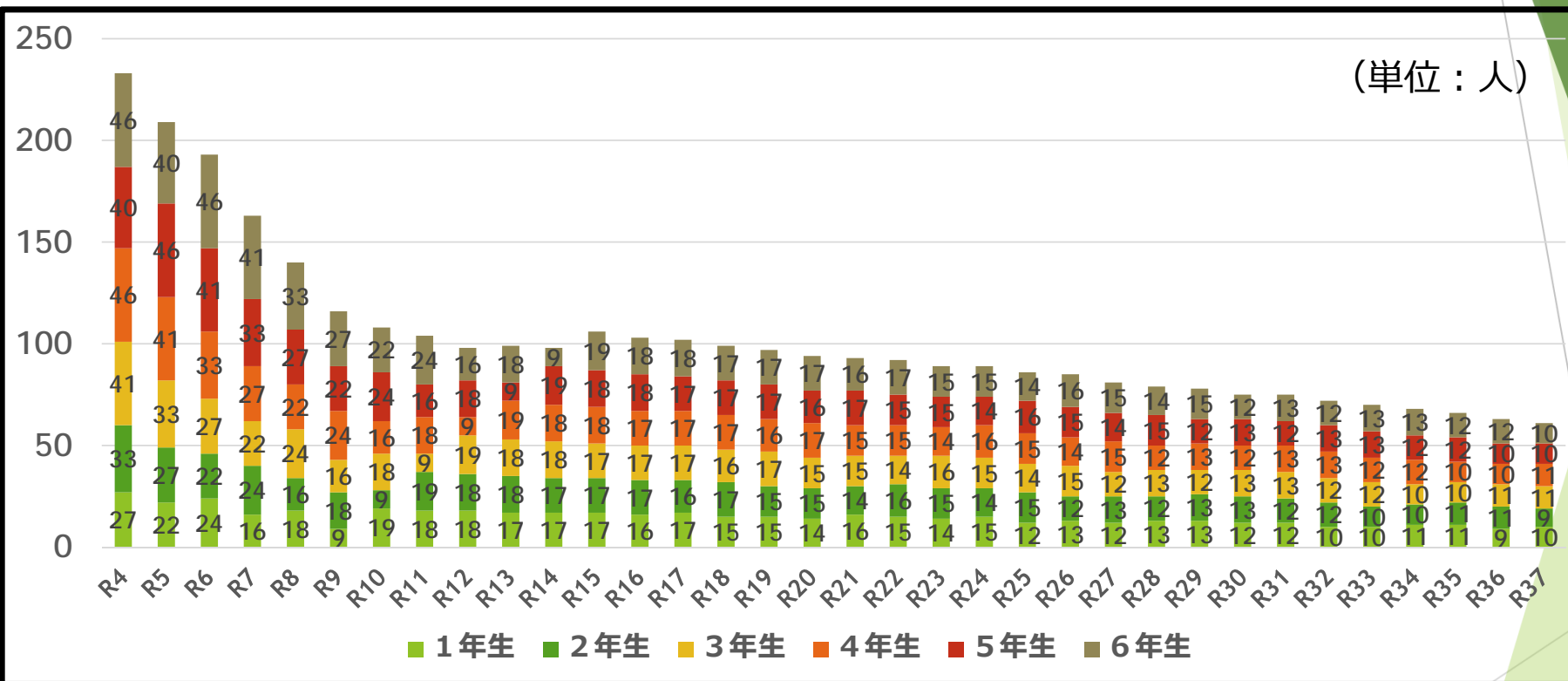
幌小の学年別児童数推計（R4～37）【現校区】



➡R17までは全学年20人以上を維持

➡本格的に小規模化が進むのは第3期以降

幌小の学年別児童数推計（R4～37） 【校区調整】



➡R7に20人未満の学年が発生

➡第2期（R8～17）に小規模化が本格的に進行

東小と幌小：校区調整の影響

【東小への影響】

- 複式学級の発生は回避
- 1 学年 20 人未満の状況は続き、小規模化の問題は解決せず

【幌小への影響】

- R7に 20 人未満の学年が発生
- 校区調整により第 2 期には小規模化が進行
(従来は第 3 期まで 1 学年 20 人以上を維持)



東小での複式学校発生は回避されるが、
第 2 期には幌小の小規模化が進んで隣接 2 校が小規模校に

東小と幌小：校区調整の可能性

東小の小規模化が進む状況に変化なし

幌小の小規模化が早まり新たな小規模校を生む結果に

効果が限定的であること、
一部児童への影響を考えれば校区調整は困難

両校統合が現実的な選択肢